

WEB 版「建築討論」 レポーター報告書

レポーター

氏 名	山田由香里
所 属	長崎総合科学大学

建築諸元 わかる範囲でご記入ください

建築に関わる諸活動	残さんばさ長崎市公会堂トークライブの開催 (長崎都市遺産研究会による長崎市公会堂保存運動)		
設計者	武 基雄		
所在地	長崎市魚の町4番30号		
用途	公会堂	竣工年月	1962年 6月
階数	地上 5階	地下 階	屋 上 階
構造種別	鉄筋コンクリート造		
建築主	長崎市	施工会社	大長崎建設
構造設計者		設備設計者	

建築概要、特徴、評価する点など (800~1,600字程度)

2014年5月23日、残さんばさ長崎市公会堂トークライブが開催された。これは、長崎市が計画している長崎市公会堂敷地への市役所移転建替に対し、長崎都市遺産研究会（市民有志団体）が問題提起しようとして開催したものである。

林一馬氏（研究会代表、長崎総合科学大学名誉教授）がまず、「長崎市公会堂問題とは何か」として、5月18日に長崎新聞に掲載した意見広告「長崎市公会堂に関する10のギモン」を紹介した。1962年建設の長崎市公会堂は、長崎の被爆復興のために策定された長崎国際文化センター構想に基づいて世界中からの募金によって建設された復興のシンボルであること、設計者は早稲田大学教授で長崎出身であった武基雄氏であること、公会堂前広場は都市公園であり、長崎くんちの棧敷広場として市民に長く愛されてきた貴重な公共空間であること、優れた市民ホールは都市の財産であり、今治や米子では公会堂リニューアルによって町の歴史の見直しを進めていることなどの問題提起をされた。

これを受けて、パネリスト4氏から発言があった。

松隈洋氏（DOCOMOMO JAPAN代表、京都工芸繊維大学教授）は、「風土に育つモダニズム建築」として、DOCOMOMOで選ばれた建築はいずれも関東大震災と戦後復興を象徴する存在であり、アーキウォーク広島、宇部市民館、日出小学校などの活用事例を通じて、今時代は動いており、建築をすることが市民の楽しみになりつつあり、建築文化の醸成が各地で進んでいることを紹介された。

小田浩爾氏（元長崎県総務部長）は、当時の担当者として公会堂建設に関わった立場から、長崎国際文化センターは長崎県の仕事であり、実現に至るまで優れた発案者がいたことを明かされ、観光はこういった発案者の足跡をたずねることであり、どこで物事が決まっていくか、事実を知ってほしいと力説された。

尾上明美氏（長崎市民劇場代表幹事）は、会員3000人を有し、年に7例会（1例会は3ステージ）を行って公会堂を長く使ってきた立場から、2011年に市の公会堂等文化施設あり方検討委員会に参加する中で、もし市役所移転建替となった場合、新公会堂の建設計画が明確でなく、危機感を覚えたことから、2013年に市民劇場の活動場所を確保するための要望書を提出されたことを報告された。

本日時夫氏（株式会社梅月堂取締役）は、公会堂のある町内の住民でもあることから、公会堂に出かけるときは子供のころからわくわくしたこと、前面の広場がその高揚感を高めていたこと、長崎くんちでは公会堂の正面の柱の何本目を目印としたこと、コンクリート建築はもっと持つと思っていたこと、人口減少・少子化・高齢化・町の縮小が全国に先駆けて始まる長崎で、現在の市の計画は適っているのか疑問に感じることを述べられた。

発言を受けて会場から、耐震補強とは何なのか、平和教育の継承の場としても重要な意味をもっているのではないか、長崎の人の思い出の場所であることなどの質疑が出され、長崎市議会によるモダニズム公会堂の改修事例視察の様子などが紹介された。

最後に、パネリストからさらに発言があり、松隈氏は建築は人よりも長く生きて伝えられる都市の財産であること、小田氏はマスコミカ・財政力・市民力に期待したいこと、長崎国際文化都市建設法は今も生きている法であること、尾上氏は自分たちの文化に自信を持ちたい、公会堂を失うことは歴史的空間の喪

失につながることは間違いなく、しかるべき行動を起こしたいと表明があった。林氏は、松隈氏の先進事例で紹介されたように、建築の時代がやってくる、それはリノベーションの時代であると締めくくられた。

このトークライブは、保存運動に公会堂の歴史を正確に把握する学究的側面が加わり、以前に増して建物の価値を関係者一同で理解できる機会となった。ライブに合わせて復刻された『長崎国際文化センター建設計画資料』『長崎国際文化センターの歩み』もその一助を担っている（長崎都市遺産研究会にて購入可能）。ただいまは、2015年度以降の長崎市公会堂の使用継続に関する陳情書を提出するべく、各団体が動いている状況である。残さんばさ長崎市公会堂トークライブの様子は、youtube で全発言を見ることができる。ぜひ多くの方にご覧いただきたい。



残さんばさ（長崎市）公会堂 トークライブの様子 2014年5月23日



長崎市公会堂 外観



長崎市公会堂 内観（ホワイエ）